

5月のてんじ場たんけん

 うりょうけい
 雨量計をさがそう！

みなさんは、「今日は〇〇ミリの雨が降りました」とか「1時間に〇〇ミリ以上のはげしい雨が降るおそれがあります」…など、聞いたことがありますか？雨や雪の降った量のことを「降水量」、その中でも、雨だけの場合は「雨量」と言うこともあります。そして、この降水量をはかっているのが「雨量計」です。てんじ場の4階に、じっさいに観そくに使われていた本物の雨量計をてんじしているのです、さがしてみてください♪

てんじしている雨量計

てんじしている雨量計は、「転倒ます型雨量計」という種類のもので、筒状のカバーを取ると、真ん中で仕切られた「転倒ます」がななめにかたむいています。これがシーソーと同じ動きをして、雨の量をはかります！雨の水が落ちてくると、まずは上にある方のますに水がたまり、重くなるとカタンツとかがたむきます。そして今度は、もう一方のますに水がたまり、重くなると、またカタンツ。このカタンツとかがたむく回数を自動で数えることで、降水量を自動的にはかっています。ちなみに、雪が降る場所の雨量計には、雪をとかず仕組みがそなわっています。



おまけ

来月、6月1日は「気象記念日」です。明治8年6月1日に東京気象台(今の気象庁)での、気象と地震の観そくが始まりました。

また、雨量計や雨の量のはかり方については、「雨の量をはかる方法」というタイトルで、大阪市立科学館YouTubeでもしょうかいしています。

にしおか さおり(科学館学芸員)